

講演会

19世紀のフランスの画家カミーユ・コロアの描く詩情あふれる風景画や人物画は世界中の芸術家や美術愛好家を魅了してきました。

今回展示されるルーヴル美術館所蔵のコロアの代表作群「真珠の女」「モントフォンテーヌの思い出」「青い服の婦人」を中心に初期のロマン主義的風景から後期の霧に煙る夢想的な画面、繊細な人物画等コロア芸術の魅力を大野芳材先生に講演していただきます。今回はルノワールやモネ、シスレー、ブラックなどの作品も同時に展示されます。

対象者	どなたでも
日時	2008年 7月 11日(金) 10:30~12:30
場所	深雪スタジオ 3階教室
受講料	3,150円

講師	オオノ ヨシキ 大野芳材氏(青山学院短期大学 教授)
----	-------------------------------

東京大学人文科学研究科博士課程中退。パリ第4(ソルボンヌ)大学博士課程留学。東京大学文学部助手を経て、現在青山学院短期大学教授。

ルーヴル美術館所蔵 『19世紀フランスの画家 カミーユ・コロア』展 —光と追憶の変奏曲—

場所 上野・国立西洋美術館 会期 2008/6/14~8/31